

第 31, 第 32-2, 第 96, 121・23E 小委員会 審議結果報告書

平成 28 年 3 月 22 日

一般社団法人日本電機工業会 技術部

1. 担当分野

一般社団法人 日本電機工業会 技術部が、電気用品調査委員会の国内小委員会として担当している分野を表 1 に示す(イタリック体太字)。

表 1 担当分野

小委員会	IEC		名 称
	TC	SC	
23-1	23		電気用品
		B	プラグ、コンセント及びスイッチ
		G	機器用カプラー
		H	工業用プラグ及びコンセント
		K	電気エネルギー効率化製品
23-2		A	電線管システム
23-3		J	機器用スイッチ
31	31		爆発性雰囲気で使用する機器
		G	本質安全防爆
		J	危険場所の分類及び設置要件
		M	爆発性雰囲気で使用する非電気機械器具と保護システム
32-1	32		ヒューズ
		A	高電圧ヒューズ
32-2		B	低電圧ヒューズ
32-3		C	ミニチュアヒューズ
96-1	96		1100V 以下の変圧器、リアクトル、電源ユニット等
121・23E	121		低圧開閉装置及び制御装置並びにその組立品
		A	低圧開閉装置及び制御装置
		B	低圧開閉装置及び制御装置の組立品
	23	E	小形の遮断器

2. トピックス

(1) 国内審議関連(「電気用品の技術基準」の分野)

現在改正審議中の案件を表 2 に示す。

表 2 審議対象案件一覧

小委員会	規格名	名称	区分
31	該当なし (防爆機器ですので、電気用品安全法の対象外です。)		
32-2	該当なし	該当なし	—
32-3	該当なし	該当なし	—
96-1	該当なし	該当なし	—
121・23E	該当なし	該当なし	—

(2) 国内審議関連(「JIS」の分野<電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈 別表第十二の規格リストへ提案予定の JIS 他>)

現在改正審議中の案件を表 3 に示す。

表3 審議対象案件一覧

小委員会	規格名	名称	区分
31	—	該当なし（防爆機器ですので、電気用品安全法の対象外。）	—
32-2		該当なし	—
32-3		該当なし	—
96-1	—	該当なし	—
121・23E	—	該当なし	—

【トピックス】

特にありません。

【他の小委員会に特に連絡したい事項等】

特にありません。

【今後の予定】

特にありません。

(3) IEC 関連

平成27年11月（前回報告以降）～平成28年2月の期間中に回答したIEC規格原案に対する回答状況を表3に示す。

【個々のIEC規格原案の詳細については別紙参照】

表3 IEC規格原案の回答状況(概要)

コメント	NP		CD		CDV				FDIS				DC/DTR等						
	賛成		反対		—		賛成		反対		賛成		反対		賛成		反対		
	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	有	無	
第31小委員会	防爆機器ですので、電気用品安全法の対象外。記載略。																		
第32-2小委員会					1	1	1												
第32-3小委員会			1						1										
第96-1小委員会																			
TC121・SC23E					1			1				3					4		
合計(件)	1		2		4				3				4						

【備考】NP: New Work item Proposal, CD: Committee Draft

CDV: Committee Draft for Vote, FDIS: Final Draft International Standard

DC: Document for Comments, DTR: Draft Technical Report

【トピックス<反対した理由 他>】

○32C/516/NP の反対理由

ミニチュアヒューズとヒューズ抵抗器の機能は全く異なり、ミニチュアヒューズの規格群にヒューズ抵抗器の規格を含めると、ミニチュアヒューズとヒューズ抵抗器の誤解、混乱、誤使用の原因となり、安全性が損なわれる原因となる。ヒューズ抵抗器の規格番号はミニチュアヒューズと別の番号とすべきである。

○32C/514/CDV の反対理由

CDで提出した、遮断試験を定格遮断容量並びに定格電流の10倍又は50倍(IEC 60127-7では、5倍、10倍又は50倍)の何れかで実施するという意見は受け入れられなかった。高遮断容量ヒューズの場合

は、定格遮断容量が 1,500 A であるが、定格電流が 10 A (特殊用途ミニチュアヒューズリンク以外の最大定格電流)でも 50 倍では 500 A にしかならない。他の試験から定格遮断容量試験に合格できるという根拠があるのであれば、定格遮断容量試験を行う必要はない。しかし、そのような根拠がないのであれば、定格遮断容量試験を行うべきとのことで、遮断試験に割り当てられている 6 個のサンプルの内 3 個を定格遮断容量で試験するというコメントを提出することにした。

【他の小委員会に特に連絡したい事項等】

特になし。

【今後の予定(国際会議の予定等)】

日本からエキスパートを派遣する TC/SC と、WG 等の予定です。

2016/6	イタリア	SC23E/WG1、WG2
2016/10	UK	SC121A/MT9

以上

IEC 規格原案の回答状況(詳細)＜平成 27 年 11 月～平成 28 年 2 月の期間中に回答した IEC 規格原案＞

TC	番号	種別	文書タイトル／提案概要	審議概要(*1)	対応	コメント
23E	915	CDV	アーク検出	内容確認実施。	賛成	
23E	917	CD	モード 3 用 EV 充電用漏電検出	内容確認実施。	－	T 1
23E	919	FDIS	モード 2 用 EV 充電用保護器	内容確認実施。	賛成	
31 群	防爆機器ですので、電気用品安全法の対象外です。記載略。					
32B	641	CDV	低電圧ヒューズー専門家用ヒューズの例	内容確認実施。	賛成	
32B	642	CDV	低電圧ヒューズー半導体用ヒューズの例	内容確認実施。	賛成	E 1
32B	644	CD	低電圧ヒューズー非専門家用ヒューズの例	内容確認実施。	－	
32C	514	CDV	ミニチュアヒューズリンクの品質評価のための指針	内容確認実施。	反対	T 3
32C	515	NP	特定の過電流保護を行うヒューズ抵抗器	内容確認実施。	反対	G 1
121A	55	DC	イネーブルスイッチ	内容確認実施。意見なし。	－	
121A	58	DC	低圧開閉制御機器ー通則の次版見直し意見募集（電子回路）	内容確認実施。意見なし。	－	
121A	59	DC	低圧開閉制御機器ー通則の次版見直し意見募集（信頼性）	内容確認実施。意見なし。	－	
121A	60	FDIS	産業用の非常用停止ボタン	内容確認実施。意見なし。	賛成	
121A	62	FDIS	産業用の低圧回路遮断器	内容確認実施。意見なし。	賛成	
121A	70	DC	産業用の低圧回路遮断器の次版見直し要望アンケート	内容確認実施。意見なし。	－	
121B	組立品ですので、電気用品安全法の対象外です。記載略。					

(*1)：審議の詳細は、3 項【審議中特に問題になった点＜反対した理由 他＞】に記載。

G : General
T : Technical
E : Editorial